



慶應義塾大学ビジネス・スクール

株式会社 やさしい手

5

下田明夫教授は千代田大学社会人経営大学院で「経営分析実習」を担当していた。今学期も、社会人の院生 30 名を 6 名ずつのチームに分け、経営分析の実習をさせる担当企業を割り当てていた。そのうちの 1 つのチームが医療福祉分野の企業の分析を希望していたため、訪問介護事業をメインに経営する「やさしい手」の分析をするよう担当させた。この経営大学院では教授陣が手分けして経営分析の対象とさせてもらえる企業を探していた。今年は下田教授の努力が実り、株式会社やさしい手の鳥取健社長から経営分析のための事例調査をさせてもらえる協力が得られていた。

10

株式会社やさしい手の平成 28 年の会社案内によると、次のような概要であった。

- 設立：平成 5 年
- 年商：平成 25 年 111 億円、26 年 120 億円、27 年 130 億円
- 従業員：正規社員 1,054 人、非正規社員 4,240 人
- 事業：居宅介護サービス事業（訪問介護事業所 64 ヶ所、デイサービス事業 21 ヶ所、訪問看護事業所 3 ヶ所、他）、他にサービス付き高齢者向け住宅運営事業（19 事業所）等。

15

担当が決まったチームは、さっそくやさしい手の経営分析に取りかかった。経営分析では、次の 3 つの作業をした。経営環境分析、企業組織分析、そして今後の事業展開。チームメンバーの院生達はそれぞれの得意分野に応じて作業を分担し、3 つの部分からなる報告書を作成した。そして引き続き彼等は、3 つの分析を踏まえての経営改革提案を作成するのが次の課題であった。

20

25

このケースは討議資料とするために株式会社やさしい手の全面的な協力により作成された。作成したのは高木晴夫・市村真納・新村和大・鶴ヶ谷典俊・鶴ヶ谷理子である。登場人物名はすべて仮名とした。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 高木晴夫、市村真納、新村和大、鶴ヶ谷典俊、鶴ヶ谷理子（2017 年 4 月作成）